

新川会通信

第41号

# すまいる

社会福祉法人新川会

〒930-0362  
上市町稗田字七郎谷1-32  
Tel(076)472-1118  
Fax(076)472-5391  
e-mail yotsubaen@niikawakai.jp  
P <http://www.niikawakai.jp>

発行責任者 久保 進



万一に備え  
水や食料の  
備蓄も  
あります。



毎年2回の火災や地震、土砂崩れを想定した避難訓練を実施しています。

今年は、新年早々の大雪、梅雨末期の西日本豪雨、夏は命に危険があるほどの全国的な猛暑、そして台風、北海道の大地震。たくさんの人たちが被災されました。幸いなことにこちらはたいした被害がなかつたとはいえ、TVで惨状を見るとともに他人事とは思えません。あつていう間のことで、危ないと思った時にはもう避難が間に合わなかつたのかもしれません。災害に対する油断があつたとは思えませんが、それを上回る状況だつたのでしよう。近親者を亡くされた方もたくさんいらっしゃいます。どんな死で人の死はいつも突然であると、ある作家が言つてました。しかし、残された方の胸中を察するに余りあります。

被災地では、今も片付けが続いていることでしょう。流れ込んだ泥水は、乾くと力チソウになつたり、土埃になつたりします。電気も水も食べ物も不足していったことでしょう。豪雨直後に「ケガをしたときはきれいな水で傷口を洗つて、消毒薬を塗ること」と専門家がTVで言つていましたが、さすがの私も力チソウときつてしましました。

運よく豪雨の被災をしなかつた近隣の高校生がボランティア活動をしていました。最近の若者は喧嘩も恋もしないと言われていますが、まんざら捨てたものでもないようです。

さて、新川会の各事業所やGHにおいても、防災マニフェストを整備し避難訓練をしています。万一に備え、一応の水や食料の備蓄もしています。利用者のみなならず、そのご家族や近隣の方を受け入れるところもあります。しかし、実際になつてみるとわからぬといつたところが本当のところであります。

もし想定したとおりにならなかつたらどうなるか、ということを常に想像しておかねばなりません。(どんな仕事でも同じですが)

反寘仮想心

統括管理者 久保 進

行い、丁寧  
除草作業を  
植えから、  
就労継続支援B型では、リテー<sup>ナ</sup>（ベアリング）積み、チューブ  
取り付け等の受託作業中心に入浴  
芳香品などの自主製品にも取り組  
んでいます。



入浴芳香品では、よもぎの採集  
から洗浄、  
袋詰めを行  
つていま  
す。畑では  
当帰（とう  
き）やラベ  
ンダーの苗  
植えから、  
就労継続支援B型では、リテー<sup>ナ</sup>（ベアリング）積み、チューブ  
取り付け等の受託作業中心に入浴  
芳香品などの自主製品にも取り組  
んでいます。

さつき苑は、就労継続B型が十  
四名、生活介護が十六名の計三十  
名の方々が通っています。

就労継続支援B型では、リテー<sup>ナ</sup>（ベアリング）積み、チューブ  
取り付け等の受託作業中心に入浴  
芳香品などの自主製品にも取り組  
んでいます。



即売などで販売をしていく予定で  
す。  
工芸班では、木工製品を中心に、  
畑作業やアルミ缶のリサイクル活  
動など、様々な作業に取り組んで  
います。木工製品は、「切る」「磨く」  
だけでなく、ストラップのヒート  
ツールつけも利用者の方が行っていま  
す。即売などを通し、たくさんの  
方に商品を知つてもらうことがで  
き、昨年度から国議事堂で木工  
コースターを販売しています。多  
くの観光客の方々が購入され、と  
ても好評です。また、工芸班では  
アルミ缶のリサイクル活動も行つ  
ています。地域の方々にご協力を  
頂き、回収したアルミ缶を小さく  
潰し、リサイクル業者に引き取つ  
てもらっています。長年のリサイ  
クル活動を評価され、昨年度末に  
は、『アルミ缶リサイクル協会』か  
ら表彰を受けました。この表彰を  
励みに、今後も様々な活動に挑戦、  
取り組んでいきます。

制作にも取り組んでいます。今後、  
栽培  
取り、こ  
ちらも入  
浴芳香品  
として製  
品作りを  
していま  
す。また  
方には商品を知つてもらうことがで  
き、昨年度から国議事堂で木工  
コースターを販売しています。多  
くの観光客の方々が購入され、と  
ても好評です。また、工芸班では  
アルミ缶のリサイクル活動も行つ  
ています。地域の方々にご協力を  
頂き、回収したアルミ缶を小さく  
潰し、リサイクル業者に引き取つ  
てもらっています。長年のリサイ  
クル活動を評価され、昨年度末に  
は、『アルミ缶リサイクル協会』か  
ら表彰を受けました。この表彰を  
励みに、今後も様々な活動に挑戦、  
取り組んでいきます。





## 雷鳥苑だより



お問い合わせは  
雷鳥苑酒井まで。



今年は濃い味で美味しいですよ!



流しそうめん美味しいね。

今年の立山祭りでは、黒ニンニクの販売をすることでもありました。初めて黒ニンニクを口にされるお客様も、美味しさにびっくりしてくれました。

人（利用者さん）も駆けつけてくれ、活気ある販売となりました。毎年どんどん焼きを販売しており、好評につき毎年完売します。暑い中たくさんのお客様でたくさんのP.R.がきました。

雷鳥苑では毎年、立山町商工会のイベント、『立山祭り』での出展販売を行っています。

今年は雄山中学校の生徒さんとの交流を行いました。リサイクル作業体験・作品作り体験を中学生皆さんに体験してもらいました。

リサイクル作業の工程をみて、「大変な仕事ですね」と言つてくれる生徒さんもおられました。

昼食は流しそうめんを行いました。皆さん楽しそうに声を掛け合いながら、珍しい流しそうめんを味わつておられました。

雷鳥苑では毎年、夏休み頃になると、立山町赤十字奉仕団主催で、地域の小中学生との交流会を行っています。

## 地域行事への取り組み

### 赤十字交流イベント (雄山中学校)

## 工房よつばだより

### 遠足

七月二十日、用者の皆さんがしみにしていた遠足の日でした。イクロバスに揺られて向かったのは氷見市の民宿「興市郎」



その後、氷見市潮風ギャラリーに移動し、忍者ハットリ君や怪物くんの作者で有名な藤子・F・不二雄さんの作品展示や特設コーナーのある館内を見学しました。



昼食はひみ番屋街の「番屋亭」

にて刺身や天ぷらなどの船頭御膳を頂いています。



普段とは少し違う食事に、皆さん舌鼓を打つておられました。昼食後は番屋街内で班ごとに過ごしています。足湯に入りスッキリとしたり、好きなおやつやお土産を買ったりして皆さんとても満足されていました！

帰りに、同じく氷見市にある獅子舞ミュージアムの見学に行きました。獅子舞を知っている人も知らない人も、用意されたビデオを真剣に鑑賞したり展示物を見たりしておられました。厳しい暑さでしたが、仕事から離れて氷見を満喫できました。严ったことと思います。

## さつき苑だより

### 遠足

六月二十六日  
(火) 遠足がありま

した。行先は利用者の皆さんのお望を取り入れ、砺波地区となりました。

昼食は「ふかまつ」

で食べました。お造りや焼き魚などに加え、大門そうめんと砺波ならではの料理を堪能して皆さん、大変満足した様子でした。

次に訪れた、チューリップ四季

帰りの道中では、砺波地区的散居村や田園風景を見学する機会となり、天候にも恵まれ、普段の苑

種類のチューリップに皆さん「すごい！」と歓声を上げておられました。



## つつじ苑だより

### ブルーベリーの摘み取り体験

前号でお伝えした通り、今年度は滑川市二塚にある中庭のブルーベリー園へ定期的に遊びに行っています。

園主の桶川さんは二〇〇一年から試行錯誤を繰り返しながら栽培を続け、約二千平方メートルの農園で約四十品種五〇〇本のブルーベリーを育てています。

除草などのお手伝いをさせてもらっていたなかで、摘み取りの招待を受け、七月二十六日と二十七日に摘み取り体験に行ってきました。

利用者の皆さん、桶川さんから旬を迎える品種は「オースチン」「ティフブルー」で、紫色になっているブルーベリーが熟して食べ頃だと説明を受け、ブルーベリー園に足を踏み入れると、「粒が大きい」「甘い」など興奮した様子で、暑さも忘れました。摘み取ったブルーベリ

ーは調理実習でジャム作りを行なう予定です。桶川さん、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



## 地域相談室だより

### エワーア会 スポーツ教室

七月一日に四ツ葉園の体育館で、滑川・中新川知的障がい者エリア会のスポーツ教室が行われました。四つの市町村からそれぞれ集まり、総勢約九十人の参加者が集まりました。今年は五つの競技を行い、うち二つは新種目でした。中でも白熱したのが、障がい者スポーツでおなじみの「ぱっちゃん」アレンジした、新種目「ぱっちゃん」という競技です。的を用意し、それぞれ中心から十点、五点、一点の円の中にボールを転がしていき、最終的に合計得点の多いチームが勝ちというルールです。思つた以上に難しいのか、参加者の皆さんも苦戦しておられ、距離が足りない勝ちというルールです。投げた球が先に投げられていた球に当たつて転がっていき、十点に入る瞬間は盛り上がりを見せました。



めざせワールドカップ



むずかしいな～

なかなか会えない人に会うことがあります。最近あつた話やお互いの趣味の話など、話は尽きません。友達と一緒に競技をし、より一層親睦を深められることができ、スポーツ教室終了後にはまた来年会もこの出会いを大切にして、来年は更に盛り上がるスポーツ教室をしたいと考えています。

六月十九日、二十日に中堅職員を対象にした研修に参加しました。私は四ツ葉園の支援員として働いて今年で6年目となり、中堅職員の立場にあります。今回の研修では、そうした「中堅職員」がどのような資質を求められているかについて、講義とグループワークを通して学びました。

講義で強く印象に残った事は、組織の中で「思いの仲介者、翻訳者であること」について学んだことです。中堅職員は上司と後輩の意見を受け止め、仲介、また分かりやすく伝える翻訳の役割をこなす事が求められます。相手の言葉を否定せずに聞き、相手の伝えた事が本当に自分は理解できるかを常に問い合わせ、そして相手の表情や態度などのサインから相手の本当に伝えたい思いに近づけるように努力していく。それは利用者支援にも活かせる重要な考え方であると思いました。

グループワークでは、「ブレーン

## 研修報告

### 中堅職員研修に 参加して

四ツ葉園支援員  
信清 克哉



ストーミングの4原則（批判厳禁、自由奔放、多数歓迎、便乗発展）を活用し、中堅職員の果たしていく役割について実際に話し合いを行いました。多くの意見を出し合ってそれぞれの思いを交わし合い、話し合いを活発にまた円滑に行うことができることを実感しました。四ツ葉園での会議や話し合いにこの方法を取り入れることで今よりもさらに質の良い話し合いの結果を得ることができます。そして自分は中堅職員として上司や同僚、後輩に効果のある具体的な方法を提供することができるように思いました。中堅職員という四ツ葉園で中核を担う一員として今回学んだ事を忘れず、日々の業務を行つていこうと思います。